

研究協力のお願

昭和医科大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和医科大学藤が丘病院における FPD 長尺撮影を用いた小児全脊椎撮影の撮影条件の検討	
1. 研究の対象および研究対象期間	2024年4月1日から2026年3月31日に昭和医科大学藤が丘病院での単純X線撮影(全脊椎撮影)を行った12~20歳の患者
2. 研究目的・方法	<p>小児の突発性側弯症を評価するため、全脊椎撮影が行われます。側弯の程度を評価する指標として Cobb 角があり、全脊椎正面画像を使用して測定します。近年、間接変換 FPD 装置を用いた長尺撮影が導入され、1回のX線照射で全脊椎を撮影することが可能となりました。一方で、撮影条件の最適化については、日本の診断参考レベル2020(DRLs2020)に基づく設定が推奨されているものの、小児全脊椎撮影に関する線量基準は明記されていません。当院においても小児の全脊椎撮影が行われていますが、確立された撮影条件は存在しない現状にあります。</p> <p>そこで本研究では、小児全脊椎正面撮影について、X線の撮影条件(管電圧、管電流時間積)を変化させて、全脊椎模擬ファントムを撮影し、得られた画像の物理評価(画像信号値、標準偏差、コントラスト・ノイズ比(Contrast-to-Noise Ratio: CNR))を行います。また、整形外科医師、診療放射線技師による視覚評価を行い、小児全脊椎正面撮影における最適な撮影条件について検討します。</p>
3. 研究期間	昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	小児全脊椎側面X線画像より計測して得られる小児の前後方向の体厚 小児全脊椎模擬ファントムより得られた画像信号値、標準偏差、CNR、視覚評価
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません。
6. 研究組織	研究代表者 昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 小池悠介

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部

氏名：小池悠介

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1 - 30

電話番号：045-971-6234(放射線受付)